

平成30年度
大田原市自治功労者表彰

11月1日、平成30年度市自治功労者表彰式を行い、各分野で功のあった方々45名を表彰しました。表彰を受けた方々は次のとおりです。おめでとうございます。(敬称略)

市の教育、産業、衛生、土木、防災、納税、慈善事業、その他社会公共のために尽くした功労が顕著な方

＊市政…渋谷 仁一、坂本 瞭
岡本 憲一

＊経済産業大臣表彰…松本 富枝(統計調査)

＊総務大臣表彰…岡田 光男
(統計調査)

＊厚生労働大臣表彰…
増山 伸夫(国保関係)

＊消防庁長官表彰…
松本 茂(功労章)

伊藤 祐一、植竹 英夫、
江連 正美、古谷 正道

(永年勤続功労章)

＊交通安全…五十嵐 辰男

＊慈善事業…(故)栗原 敏子、
増村 英樹

＊納税…人見 充、磯飛 同、
岡野 昭一、佐藤 威夫

＊学校…種村 武彦、鈴木
祐子、徳原 宏江、高野
朋子、池澤 進、井戸沼
勝、相澤 茂子、小口 博、
深堀 純江

＊社会教育…志賀 忠夫、佐
武 久司、高林 廣



TEL 問 総務課
(23) 8761

＊国井 芳雄、加藤 智一、
橋本 忠司、大森 新一、
善養寺 圭吾

＊消防…櫻岡 泰人、松本
亮、小松 学、堀江 誠、
菊池 久光、佐藤 伸也、
星 道男、川又 健児、蜂
巣 耕司、永山 憲寿

秋の叙勲

秋の叙勲が発表され、本市では次の方々が受章されました。おめでとうございます。(敬称略)

＊瑞宝単光章

黒崎 富士夫(矯正業務) 小林 伸(矯正業務) 直井 秀之(消防)

＊瑞宝双光章

笹沼 敏行(郵政事業)

県文化功労者に彫刻家・日原公大氏

ひはらこうだい

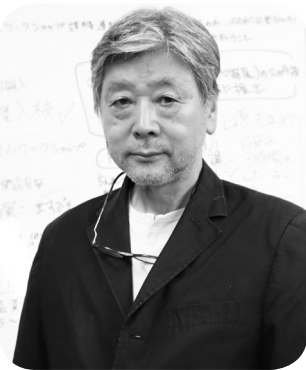
問 文化振興課 湯 TEL(98)3768

市内在住の彫刻家で、本市の芸術文化研究所長を務める日原公大氏が、11月14日、栃木県文化功労者として表彰されました。

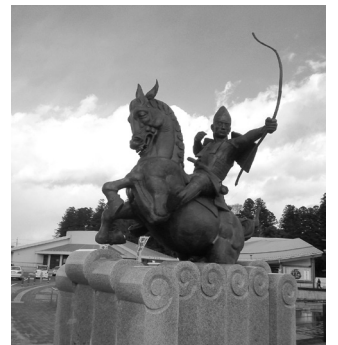
那須野が原国際芸術シンポジウムなどの芸術文化に関する各種事業を主導し、市芸術文化研究所長も務めながら地域文化の向上に貢献され、また、大学教員として教員養成や芸術教育にも尽力されたことなどが認められたものです。

●日原公大氏の略歴・主な出展歴

- 昭和 20 年 山梨県生まれ
- 昭和 47 年 東京藝術大学大学院修了
- 昭和 48～52 年 フランス国費留学
- 平成 13 年 セルビア・モンテネグロ国際彫刻シンポジウム
- 平成 16 年 台・中・日文化交流彫刻展(韓国)
- 平成 18 年 第 15 回ムネ国際彫刻シンポジウム(フランス)
- 平成 19 年 第 11 回パレ国際彫刻シンポジウム
(ボスニア・ヘルツェゴビナ)
- 平成 21 年 日・韓・台彫刻展(韓国)
- 平成 22 年 第 13 回イチョン国際彫刻シンポジウム(韓国)
- 平成 25 年 ベストセレクション美術 2013(東京)
アジア現代美術展(中国)
- 平成 26 年 シュウズ・ボックス展(台湾)
- 平成 27 年 高尾芸術博覧会(台湾)
- 平成 28 年 ソノフェリーチェ G C 国際ワークショップ(韓国)
- 平成 29 年 A A B ギャラリー展覧会(フランス)
- 平成 30 年 第 19 回那須野が原国際芸術シンポジウム(大田原)
- 現在 宇都宮大学名誉教授・市芸術文化研究所長・一般法人二紀
会副理事長



日原 公大氏



道の駅那須与一の郷に
ある日原氏制作の
「与一像」

大田原ブランド認定品の募集

本市の自然豊かな環境のもとで生産または加工製造される特に優れた特産品を広く情報発信することにより、本市の知名度向上と産業の振興、地域活性化を図っていくことを目的として大田原ブランド認定制度を実施します。

- 認定の対象…▶市内で生産または加工製造されたもの▶市内の生産物を材料として加工製造されたもの
- 申請資格…認定の対象となる特産品を生産または加工製造している個人、企業、団体などで、原則として、市内に主たる事業所を有すること
- 募集期間…12月3日(月)～平成31年1月31日(木)
- 申請方法…大田原ブランド認定申請書に必要な事項を記載の上、関係書類を添えて下記まで郵送(当日消印有効)または持参ください(受付：平日午前8時30分～午後5時)。
※募集要項、申請書などは下記窓口で配布または市ホームページからダウンロードできます。
- 選定方法…大田原市ブランド推進協議会において、申請内容を審査し、ブランド認定を決定します。
※詳細は、大田原ブランド認定募集要項をご覧ください。

問 申 商 工 観 光 課 〒324-8641 大田原市本町1-4-1 TEL(23)8709

大田原神社の屋台行事(大田原屋台まつり)を市指定文化財に指定

市教育委員会では、10月25日付けをもって次の無形民俗文化財1件を本市指定文化財に指定しました。この指定で、国・県指定等も含めた市内の指定等文化財は、210件となりました。

- 種別…無形民俗文化財
- 名称…大田原神社の屋台行事(大田原屋台まつり)
- 所在地…大田原市中央一丁目ほか
- 保存団体…大田原市屋台まつり実行委員会
- 年代…江戸時代
- 文化財の概要…大田原神社は、江戸時代には「温泉神社」と呼ばれ、その祭礼の付け祭りとして屋台行事が奉納されていた。この屋台に関する最古の記録は、文政元年(1818)に下町が屋台を新調したことである。当初の



屋台は、床面のない上屋のみの簡単な構造で、それをかつぎ、また、その中で囃子も奏でながら歩いて移動していくものであった。昭和期に至っては、天皇即位の礼、市制施行など、特別の出来事を記念した屋台の巡行が行われ、昭和41年(1966)からは、11月に開催されていた大田原商工会議所主催の「商工祭」で屋台が出勤するようになった。さらに、平成元年(1989)に大田原市屋台まつり実行委員会が設立され、4月の「さくらまつり」に合わせて全ての屋台が出勤するようになり、現在の「大田原屋台まつり」としての基本的な形態が整えられてきた。少なくとも近世後期には成立した屋台行事で、代々受け継がれてきた華やかな彫刻屋台を各町で競うように花飾りや提灯などで彩り、屋台の中では囃子手が小気味よく笛や太鼓を奏でて、屋根上に上った数人の若者が盛んに囃し立て、錫杖を手にした手古舞が先導しながら、揃いの浴衣や法被を身にまとった各町内の大勢の老若男女が引手となって、町内を練り歩いていくというのが基本的な姿である。こうした屋台行事を各町が年番で担っていく。「ぶつつけ」など時代とともに新しい要素を取り入れながらも、各町総出で脈々と受け継ぎ、現在、大田原市を代表する豪華絢爛な祭りとしての地位を築き上げてきた。屋台の製作年代の古さやその台数については、県内では鹿沼市に次いで古く、台数も多い。

問 文化振興課 湯 TEL(98)3768

【第2弾】「COOL CHOICE とちぎチャレンジ! 2018」に参加ください

県では、省エネ家電買換キャンペーン「COOL CHOICE とちぎチャレンジ! 2018」第2弾を実施しています。1月18日(金)までに、県内の販売店舗で対象の省エネ家電製品へ買換えて応募した方の中から抽選で約100名の方にさまざまな景品を進呈します。

- 応募資格…県内在住、通勤・通学の方
- 応募受付期間…1月18日(金)まで
- 対象商品…LED電球、LEDランプ、LED照明器具または統一省エネルギーラベルの多段階評価で4つ星以上の冷蔵庫、テレビ、エアコン、温水洗浄便座
- 応募方法…①「COOL CHOICE とちぎ」総合サイトから応募(「とちぎチャレンジ2018」で検索。)
②販売店などで配布されるチラシ裏面の応募用紙により郵送またはFAXで応募。

問 申 県地球温暖化防止活動推進センター

〒329-1198

宇都宮市下岡本町2145-3

TEL028(673)9101 FAX028(612)6611